

陳 情 文 書 表

(令和6年3月18日)

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| <p>受理番号・受理年月日及び件名</p>          | <p>陳情第79号(6. 3. 11)<br/>六甲アイランドのまちづくりに関する陳情</p>   |
| <p>陳 情 の 要 旨</p>               | <p>1. 医療モールなどの誘致<br/>六甲アイランドには、眼科、皮膚科、耳鼻科などの医療機関が六甲アイランド病院(平日午前のみ)しかない。子供、特にアレルギーがある子供は頻りに通院が必要である。午後の診療にも対応可能な診察所規模の医療機関を誘致すること。</p> <p>2. 図書館、書店の誘致<br/>住民アンケートで毎回必要なもののトップに上がってきている。以前は六甲アイランドに2件の本屋があった。「インターネットで眺めるのではなく、実際に手にとって選ぶことが楽しい。特に子供たちにその楽しみを味わってもらいたい」など意見も寄せられている。人類の英知を集めている本は、財産であり、文化として最低限必要なものである。経済産業省も大臣直属の書店振興プロジェクトチームを立ち上げ、本格的な支援を行うとの報道もある。こうした取組を積極的に取り入れ、六甲アイランドに図書館、書店を誘致すること。</p> |
| <p>陳 情 者 の 住 所<br/>及 び 氏 名</p> | <p>神戸市東灘区<br/>六甲アイランドの声を届ける会<br/>代表 西澤 あきひ ほか1名</p>   |
| <p>送 付 委 員 会</p>               | <p>都市交通委員会</p>  |

神戸市会議長 様

~~神戸市市長 久元喜造様~~

2024年3月//日

六甲アイランドの声を届ける会

陳情

**六甲アイランドのまちづくりに対する要望書**

住所 神戸市東灘区

氏名 石丸 祐基



住所 神戸市東灘区

代表 氏名 西澤 あきひ



~~他 6名~~

日頃から住民の命と暮らしを守るために尽力されていることに敬意を表します。

2024年3月1日に六甲アイパークが開業し、長期にわたって入居のない状態が続いていた懸念が解消され、活気が戻ると喜んでいますが、しかし、同時に住民の暮らしに関わった改善は不十分と感じています。

六甲アイランドの人口は約2万人で東灘区の人口約21万人の約1割が住んでいます。子ども(14歳以下15%)が比較的多く、75歳以上の後期高齢者も約1割住んでいます。

先に行われた『六甲アイランドまちの将来の姿(案)』のアンケートは内容がかたよっており、また、自由記述で出された内容が方向性に十分に生かされているとは思えません。

私たちは、数年前から独自に住民の方にアンケートをおこない、話し合いをすすめてきました。

以下の内容はこれらの意見などで何回も出されたもので、六甲アイランドに住む人の環境改善を求め、以下陳情します。ぜひ実現をお願いしたいです。

【陳情項目】

1. ~~市の出張所の設置~~ 六甲アイランド内に市の出張所を設置すること

住吉の区役所まで行くのは不便です。六甲ライナーは高く、高齢になれば島外に行くこと自体が困難です。また、保育所のことや高齢者支援のことなど、対面で相談手続きしたいことが多くあると聞いています。

スマートシティ化に対応できない障害者や高齢者にも等しく行政窓口の機会が与えられるようにしてほしいです。

都市交通委員会所管分は  
陳情第79号

総務財政委員会所管分は  
陳情第80号

## 2. 医療モールなどの誘致

六甲アイランドには、眼科、皮膚科、耳鼻科などの医療機関が六甲アイランド病院（平日午前のみ）しかありません。子ども、特にアレルギーがある子どもは頻繁に通院が必要です。午後の診療にも対応可能な

↳ 診療所規模の医療機関を誘致してほしいです。

## 3. 図書館、書店の誘致

住民アンケートで毎回必要なもののトップに上がってきています。以前は六甲アイランドに2件の本屋がありました。「インターネットで眺めるのではなく、実際に手にとって選ぶことが楽しいのです。特に子どもたちにその楽しみを<sup>味わってほしい</sup>~~味合わせたい~~」など意見も寄せられています。人類の英知を集めている本は、財産であり、文化として最低限必要なものです。経済産業省も大臣直属の「書店振興プロジェクトチーム」を立ち上げ、本格的な支援をおこなうとの報道もあります。こうした取り組みを積極的に取り入れ、六甲アイランドに図書館、書店を誘致してほしいです。

## 六甲アイランドのまちづくりに関する陳情

陳情第79号

都市局

| 陳 情 要 旨 等   |   |
|---|---|
| 陳情者   | 神戸市東灘区 六甲アイランドの声を届ける会 代表 西澤 あきひ ほか1名  |
| 陳情要旨  | <p>【陳情第79号】</p> <p>1. 医療モールなどの誘致<br/>六甲アイランドには、眼科、皮膚科、耳鼻科などの医療機関が六甲アイランド病院（平日午前のみ）しかない。子供、特にアレルギーがある子供は頻繁に通院が必要である。午後の診療にも対応可能な診察所規模の医療機関を誘致すること。</p> <p>2. 図書館、書店の誘致<br/>住民アンケートで毎回必要なもののトップに上がってきている。以前は六甲アイランドに2件の本屋があった。「インターネットで眺めるのではなく、実際に手にとって選ぶことが楽しい。特に子供たちにその楽しさを味わってもらいたい」など意見も寄せられている。人類の英知を集めている本は、財産であり、文化として最低限必要なものである。経済産業省も大臣直属の書店振興プロジェクトチームを立ち上げ、本格的な支援を行うとの報道もある。こうした取組を積極的に取り入れ、六甲アイランドに図書館、書店を誘致すること。</p> |
| 陳 情 に 対 す る 神 戸 市 の 考 え 方   |   |
| <p>六甲アイランドまちの将来像については、有識者や地域の代表の方々と共に検討会を立ち上げ、全世帯アンケートや意見募集を行うなど、島内にお住いの方々の意見も丁寧に伺いながら、中長期的な視点も踏まえて今後のまちづくりの方向性を検討し、令和3年2月にとりまとめました。</p> <p>住民の意見等が今後のまちづくりの方向性に十分活かされていないのご指摘ですが、将来像では、ご要望にあるような生活利便性の維持・向上や、商業・サービス機能の活性化を目指す視点も盛り込み、具体的な取り組みを検討してきました。特に神戸ファッションプラザの活用については、神戸市としても重要な取り組みの一つとして捉え、例えば「こべっこあそびひろば」や「ふわふわドーム」の設置など、子育て環境の充実の視点で様々な取り組みを進めてきました。</p> <p>このような取り組みの効果もあり、本年3月1日にはROKKO i PARKとしてリニューアルオープンし、かねてより地域の皆様からご要望が多かった新たな食品スーパーやドラッグストア等の生活利便施設の出店が実現し、すでに多くの方々にご利用いただき、新たな賑わいが生まれています。</p> <p>ご指摘の医療機関などの誘致については、テナント床を保有している所有者のご協力のもと、出店する事業者側の事業性の見込みの双方が達成される必要があります。そのようなことから、六甲アイランドでは、島内のオフィス・商業ビル所有者等とテナント誘致のためのプラットフォームを立ち上げ、住民ニーズやテナント意向などの情報共有を行う取り組みや、また、神戸市が六甲アイランドの活性化を目指した施策を講じることで、テナントの進出意欲の向上につなげる取り組みを併せて実施しているところです。特に、眼科や皮膚科、耳鼻科は、内科や外科に比べると医師が少ない傾向にあり、開業のためには一定の背後圏人口が必要となることに加え、六甲アイランド病院に、現在診療科があることなどから、新たな誘致は非常に難しい状況にあると聞いております。</p> <p>図書館については、神戸市では1区1図書館を基本としており、六甲アイランドに新たに設置する予定はございません。島内には4万冊を超える蔵書を有する民間の図書館として「RICコミュニティライブラリー」があり、多くの住民にご利用いただいています。</p> <p>ご指摘いただいた経済産業省の「書店振興プロジェクトチーム」については、全国に1,700以上ある市区町村の中で、書店が一つもない自治体が、約4分の1に及ぶことへの危機感などをきっかけに立ち上がったプロジェクトと認識しています。今後は、本プロジェクトの動向も注視しながら、得られた情報は、適宜関係者間でも共有を図っていきます。</p> <p>神戸市としては、既に進めている島内のオフィス・商業ビル所有者と行政との情報共有などの場を活用し、今後も引き続き地域ニーズ等も踏まえながら、官民連携した取り組み等により、まちの活性化につなげていきます。</p> |   |